

第14次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No.1

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第1回 令和4年10月27日 (2022年)</p>	<p>15名</p>	<p>(1) 委嘱状交付 (2) 会長及び副会長の選出 (3) 水道事業経営審議会について (4) 水道事業の概要と今後の審議事項について</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> 水道事業の現状と課題、すいすいビジョン2029の概要について説明 審議会の概要、これまでの審議経過や今後の審議内容について説明 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を目途に管路更新していると思うが、耐用年数を超過していない場合でも事故が発生した事例があることから、更新にコストが掛かることは理解できるものの、ペースアップすべき。 地下水利用専用水道について議論するに当たり、何が課題で吹田市としてどのように捉えているか。 広報用動画の内容を広く知ってもらうためにも、動画を見てもらえるような働き掛けが必要だと感じた。 </p>
<p>第2回 令和5年3月17日 (2023年)</p>	<p>13名</p>	<p>(1) すいすいビジョン2029に基づくアクションプランの評価について (2) 地下水等利用専用水道について (3) その他</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> アクションプランの実績と評価や令和5年度の計画について説明 地下水等利用専用水道の概要、本市の現状やこれまでの対応、今後の課題などについて説明 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 管路の更新については、予算の関係もあると思うが、年間どの程度の更新をする必要があるのか見極め、取り組んでほしい。 事業者が市の水道を選択するか、地下水利用を選択するかは、逡増度だけではなく、近隣市との料金差も影響するため、その点にも留意すべき。 吹田市の浄水所で利用している地下水については、水位等のモニタリングをしているかと思うが、持続可能な地下水利用に向けて、今後も適正に管理してほしい。 </p>

第14次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No.2

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第3回 令和5年8月30日 (2023年)</p>	<p>13名</p>	<p>(1) すいすいビジョン2029に基づく財政状況の振り返り (2) 地下水等利用専用水道について</p>	<p>(概要) ・ すいすいビジョン2029に基づき、令和2年度から令和4年度までの財政状況について説明 ・ 地下水等利用専用水道に係る他市の取組事例の紹介や対応策を検討する際の目標設定について説明</p> <p>(意見) ・ 「すいすいビジョン2029」を見直す際には、人口推計についても考慮してほしい。 ・ 市水に回帰した事業者にヒアリングをすることは、市水利用促進を目指す上で、ポイントになると思う。 ・ 地下水等利用専用水道への対応策を検討するに当たり、「減収にならないこと」を目標として掲げているため、具体的なシミュレーションが必要ではないか。 ・ 非常時には、地下水等利用専用水道設置者が普段よりも多くの市水を使用できるよう、市側がバックアップ体制を整えておくことに対する負担をどのように考えるのかという論点も重要である。</p>
<p>第4回 令和5年11月27日 (2023年)</p>	<p>13名</p>	<p>第1部：施設整備事業の概要について 第2部：市内浄配水施設 視察</p>	<p>(概要) ・ 施設整備事業の概要説明 ・ 片山浄水所などの視察</p> <p>(意見) ・ 意見なし</p>
<p>第5回 令和6年3月28日 (2024年)</p>	<p>16名</p>	<p>(1) 地下水等利用専用水道について (2) 令和6年能登半島地震派遣報告について</p>	<p>(概要) ・ 地下水等利用専用水道への対応策に係るシミュレーション状況及び、その内容を踏まえた本市の考え方・方向性について説明 ・ 令和6年能登半島地震における応急給水・応急復旧活動の内容などを報告</p> <p>(意見) ・ 地下水等利用専用水道設置者と協議する機会を設けることは、地下水利用が公共的な視点から見てどのような位置付けになるのかなどについて理解を深めてもらうことにつながるため、非常に大事だ。 ・ 非常時には普段よりも多くの市水を供給できるよう、市側がバックアップ体制を整えておくことに対する相応の負担について、地下水等利用専用水道設置者に、どう理解いただくかが今後協議を実施していく上で重要になるのではないか。 ・ 能登半島地震における被害の状況から、水道施設や管路の耐震化を進める必要性、その根拠となるデータを吹田市でも整理してほしいと思った。</p>

第14次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No.3

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第6回 令和6年6月17日 (2024年)</p>	<p>12名</p>	<p>(1) 地下水等利用専用水道について (報告) (2) すいすいビジョン2029の見直しについて</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> 地下水等利用専用水道への対応策に係る今後の取組の方向性について報告 すいすいビジョン2029の中間見直しに向けた検討項目案について説明 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 現行ビジョンでは、早期健全化団体となる基準を参考に企業債残高対給水収益比率の目標を350%程度までと設定されているが、目標設定時と金利が変動している現在とでは数字の意味合いが変わってくると思う。金利変動を予測することは難しいが、将来世代の負担も考慮し、見直しの検討が必要だと思う。 「持続」に関する管理指標の設定においては、消費電力やエネルギーなどの全体総量や処理水量1㎡当たり、給水人口1人当たりなど多様な指標を用いて、多角的な分析・評価をできるようにしておくことが望ましい。 CO2排出量は電力消費量(kWh)が同量でも再生可能エネルギーの活用により変わるため、市の計画とも整合を図りながら管理指標に設定する必要があると思う。 </p>
<p>第7回 令和6年9月2日 (2024年)</p>	<p>15名</p>	<p>(1) すいすいビジョン2029の見直しに係る意見書案について (2) 「地下水等利用専用水道設置者への指導等指針」改正案について</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> すいすいビジョン2029見直しに係る意見書案について説明 「地下水等利用専用水道設置者への指導等指針」改正案について報告 2年間の審議を振り返っての感想 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 非常時にも市民が安全な水道水を利用できるよう、保健所や地下水等利用専用水道設置者と緊密に連携を取り合っていただきたい。 能登半島地震もあり耐震化に関する市民ニーズは高まっていると思うので、積極的に進めていくことが非常に重要だと思う。 実証実験中のスマートメーターの導入を祈念している。 水道事業のPRは、既存の手法に加え、SNSも活用しながら充実を図っていただきたい。 </p>